

横浜市立 下野庭小学校 学校評価報告書 (令和元～3年度)

Table with 4 columns: 重点取組分野, 令和元年度, 令和2年度, 令和3年度. Rows include categories like '確かな学力', '豊かな心', '豊かな心', '健やかな体', '特別支援教育', '児童指導', '地域連携', '人権教育', 'いじめへの対応', '人材育成・組織運営', 'ブロック内評価後の気付き', '学校関係者評価'.

Table with 4 columns: 重点取組分野, 令和元年度, 令和2年度, 令和3年度. Rows include categories like '確かな学力', '豊かな心', '豊かな心', '健やかな体', '特別支援教育', '児童指導', '地域連携', '人権教育', 'いじめへの対応', '人材育成・組織運営', 'ブロック内評価後の気付き', '学校関係者評価'.

Table with 4 columns: 重点取組分野, 令和元年度, 令和2年度, 令和3年度. Rows include categories like '確かな学力', '豊かな心', '豊かな心', '健やかな体', '特別支援教育', '児童指導', '地域連携', '人権教育', 'いじめへの対応', '人材育成・組織運営', 'ブロック内評価後の気付き', '学校関係者評価'.

3か年計画の初年度として、様々な視点で取組を変えてきた。働き方に対する意識の変化を求めるものが多くあった。ガバナンスをもち、重複する内容のものを統合し、より具体的に業務内容の明確化に着手することができたと思う。令和1年度においては、そのことの体制の確立ができたといつよい。次年度以降は、その一つ一つに意味と価値を付加していくことが大切となる。重点取組分野について、まだまだ具体化していくことが求められる。学校教育目標の具現化としての子ども姿の具像像を共有化し、築いた体制を基盤に持続可能な働き方が伴った教育活動の展開を図りたい。

今年度は休校から始まり様々な活動が制限される中、子ども一人ひとりをよく見て必要に応じた指導を行うように教職員の連携を重視してきた。児童指導においては、定期的に共有し適切な指導を行うことができた。特に、保護者との連携においては、困り事などを学校カウンセラーやSSW、区役所との連携を密にして取り組むことができた。働き方改革においては、高学年において教科担任制が定着し教材研究の時間や学年研の時間を確保することができた。体づくりに関しては、オンラインを活用した安全な体育の在り方について共有したりすることができた。パソコンを活用した授業にも取り組んできた。

今年度も、分散登校や学級閉鎖があり、様々な活動が制限される中、子ども一人ひとりをよく見て必要に応じた指導を行うように教職員の連携を重視してきた。学年が1つのチームとなり、子どもに寄り添いながら指導・支援を行った。週に一度全体の共有理解の場を設け、指導・支援にあたった。困り事などは、専任を中心に、学校カウンセラー、SSW、委員会、区役所、児童相談所との連携を密にして取り組むよう努力した。働き方改革においては、高学年の教科担任制を行うことで教材研究の時間や学年研の時間を確保することができた。全学年、タブレット端末を活用した授業にも取り組むことができた。